

証券コード：6469



株式会社 **放電精密** 加工研究所

2026年2月期 第3四半期
決算説明補足資料

2026年1月8日

■ 2026年2月期第3四半期決算概要

- ☐ 2026年2月期 第3四半期決算のポイント ……P. 3
- ☐ 2026年2月期 第3四半期決算概要（連結） ……P. 4
- ☐ 2026年2月期 第3四半期利益の変動要因 ……P. 5
- ☐ 事業概要 ……P. 6
- ☐ 2026年2月期 第3四半期セグメント別概要 ……P. 7～
- ☐ 連結貸借対照表 ……P.11
- ☐ 2026年2月期 通期連結業績予想 ……P.12～

2026年2月期 第3四半期 連結業績の総括

- ◆売上高10,519百万円 前年同期比14.0%増
 - 全セグメントにおいて増収
- ◆営業利益857百万円 前年同期比173.0%増
 - 一部製品の価格改定の効果に加え、放電加工・表面処理セグメントの生産拡大が寄与し増益
- ◆親会社株主に帰属する四半期純利益485百万円

2026年2月期 通期業績見通し

- ◆2025年10月2日に発表した通期連結業績予想を据え置き
 - 外部環境は計画想定内で堅調
 - 投資タイミングにより下期後半に一過性経費や先行投資費用が集中
 - 通期の売上高は前期比+9.3%の成長、営業利益は+16.1%を予想

2026年2月期第3四半期 決算概要（連結）



（単位：百万円）

	25年2月期 第3Q実績	26年2月期 第3Q計画※	26年2月期 第3Q実績	前期差 増減	計画差 増減
売上高	9,226	10,557	10,519	+1,292	▲38
売上原価	7,127	7,979	7,810	+682	▲169
売上総利益	2,098	2,578	2,708	+610	+130
販管費	1,784	1,911	1,850	+66	▲60
営業利益	314	667	857	+543	+190
営業外損益	▲32	▲66	▲63	▲30	+3
経常利益	281	600	794	+512	+194
特別損益	16	▲20	▲18	▲34	+2
税金等調整前 四半期純利益	298	580	776	+478	+196
法人税等	99	203	264	+165	+61
四半期純利益	198	376	511	+312	+135
非支配株主に帰属する 四半期純利益	8	18	26	+17	+7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	190	357	485	+294	+127

※26年2月期第3Q計画：25年10月2日公表 業績予想

2026年2月期第3四半期 利益の変動要因

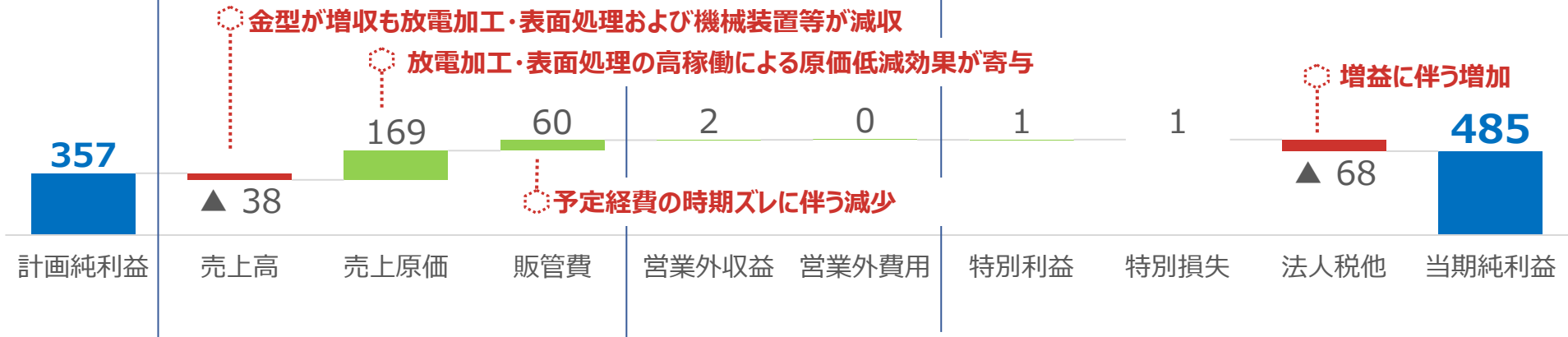


(単位：百万円)

前期比
変動要因



計画比
変動要因



※計画比：25年10月2日公表 業績予想

※純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益
※法人税他：法人税等および非支配株主に帰属する四半期純利益

放電加工・表面処理

- 航空・宇宙 ～航空機エンジン部品
- 交通・輸送 ～自動車表面処理部品
- 環境・エネルギー ～ガスタービン部品



金型

型

- 住宅 ～アルミ押出用金型
- 交通・輸送 ～セラミックスハニカム押出用金型



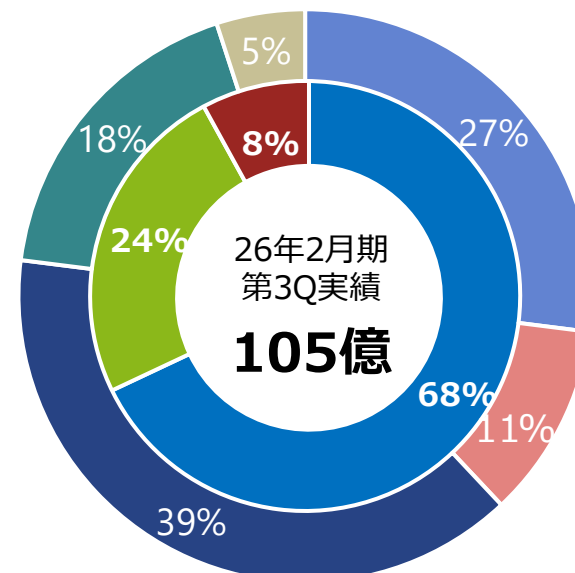
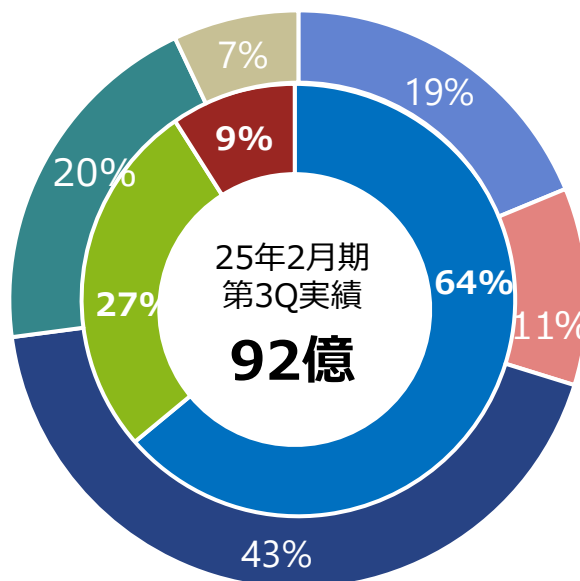
機械装置等

- 機械設備 ～プレス機・プレス付帯設備
- 交通・輸送 ～自動車関連プレス部品



セグメント別/事業分野別売上構成比率（連結）

セグメント別 ■ 放電加工・表面処理 ■ 金型 ■ 機械装置等



事業分野別 ■ 航空・宇宙 ■ 交通・輸送 ■ 環境・エネルギー ■ 住宅 ■ 機械設備

2026年2月期第3四半期 セグメント別概要

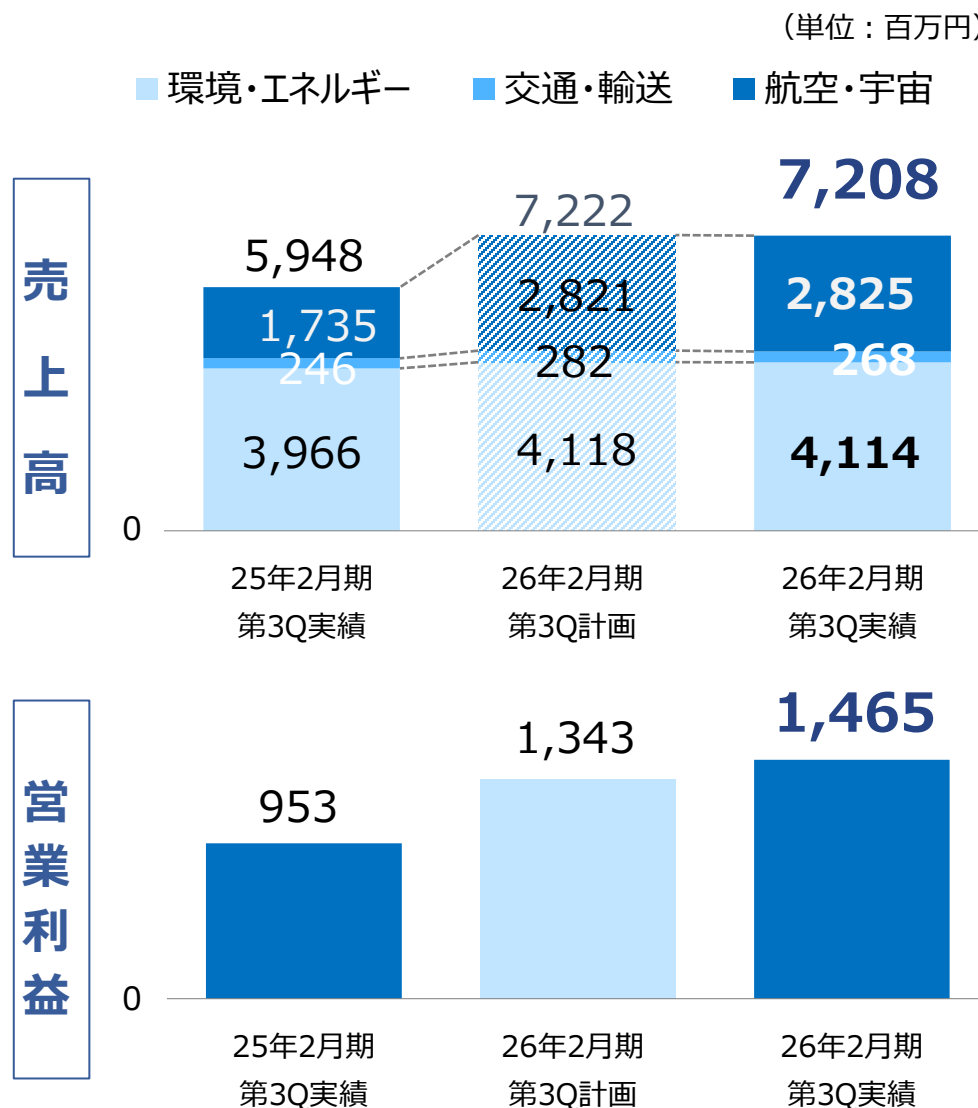


		25年2月期 第3Q実績	26年2月期 第3Q計画※	26年2月期 第3Q実績	前期差 増減	(単位：百万円) 計画差 増減
売上高	放電加工・表面処理	5,948	7,222	7,208	+1,259	▲13
	航空・宇宙	1,735	2,821	2,825	+1,090	+3
	交通・輸送	246	282	268	+21	▲13
	環境・エネルギー	3,966	4,118	4,114	+147	▲3
営業利益		953	1,343	1,465	+511	+121
売上高	金型	2,470	2,479	2,490	+19	+11
	住宅	1,853	1,891	1,924	+71	+33
	交通・輸送	617	587	565	▲51	▲21
営業利益		235	205	231	▲3	+26
売上高	機械装置等	807	856	820	+13	▲36
	機械設備	613	582	559	▲54	▲23
	交通・輸送	193	273	261	+67	▲12
営業利益		▲47	59	65	+113	+5
全社費用		▲827	▲941	▲904	+77	▲37
全社	売上高	9,226	10,557	10,519	+1,292	▲38
	営業利益	314	667	857	+543	+190

※1 26年2月期第3Q計画：25年10月2日公表 業績予想

※2 セグメント間の組替：2025年3月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。これに伴い前期の数値も変更しております。

セグメント別詳細：放電加工・表面処理



前期比 増収・増益

売上高：5,948 ⇒ **7,208** (+1,259)

営業利益：953 ⇒ **1,465** (+511)

売上高増減要因 (前期比 / 計画比)

□ 航空・宇宙 (↑ / →)

- ◇前期比は、航空機エンジン部品の生産量の回復および防衛装備品の需要の増加により増収。
- ◇計画比は、航空機エンジン部品はサプライチェーン上流の遅延影響を受け減収も航空宇宙関連部品および防衛装備品の需要増加により、おおむね計画通りに進捗。

□ 交通・輸送 (↑ / ↓)

- ◇前期比は、自動車表面処理部品が需要増加により増収。
- ◇計画比は、自動車表面処理部品の生産が想定を下回り減収。

□ 環境・エネルギー (↑ / →)

- ◇前期比は、遠心圧縮機部品の石油・ガス産業における精製需要の増加およびガスタービン部品がライン増設を見据えた前倒し出荷を実施し増収。
- ◇計画比は、ガスタービン部品の生産が想定を下回ったものの、遠心圧縮機部品の需要増加により、おおむね計画通りに進捗。

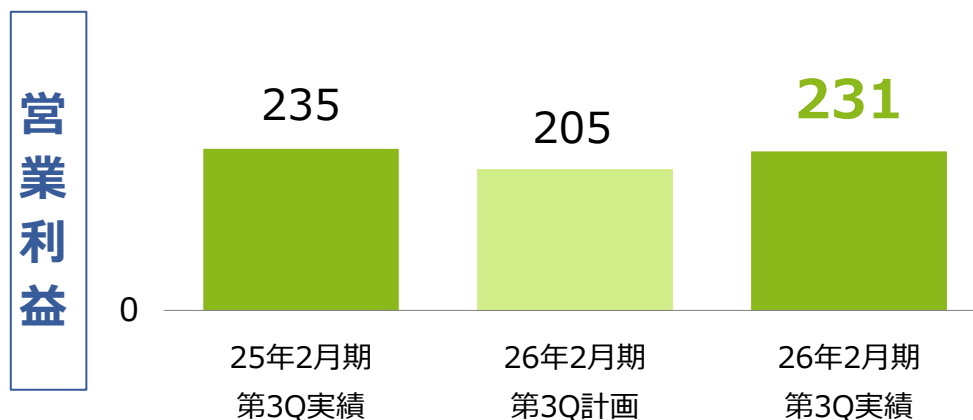
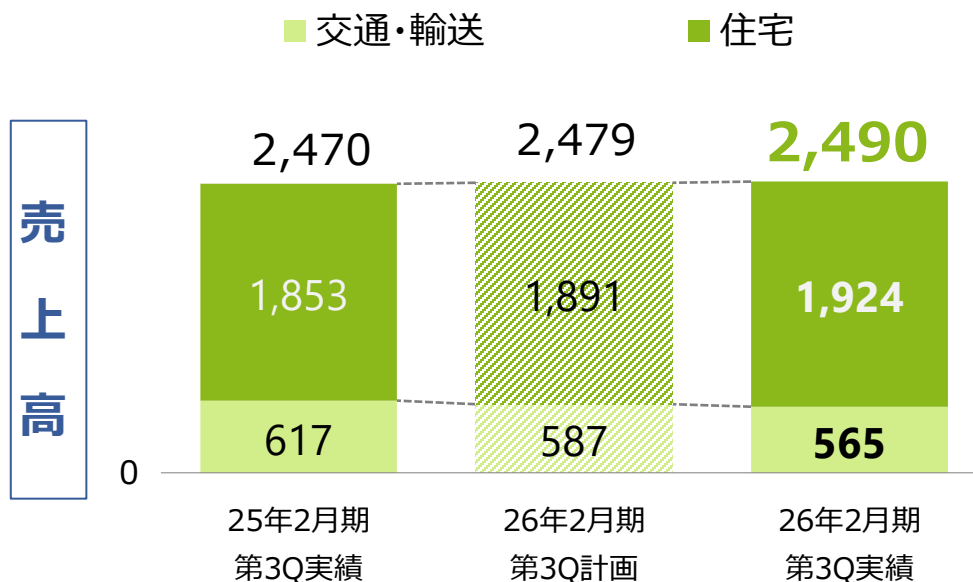
営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

□ (↑ / ↑)

- ◇前期比は、増収に加え、遠心圧縮機部品の生産性向上および前期に実施した価格改定の効果により増益。
- ◇計画比は、減収もガスタービン部品や防衛装備品の高稼働による原価低減効果が寄与。さらに計画経費の延期により増益。

※セグメント間の組替：2025年3月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。これに伴い前期の数値も変更しております。

(単位：百万円)



前期比 増収・減益

売上高： 2,470 ⇒ **2,490 (+19)**

営業利益： 235 ⇒ **231 (▲3)**

売上高増減要因（前期比 / 計画比）

□ 住宅(↑ / ↑)

- ◇前期比は、国内向けアルミ押出用金型が省エネ基準適合義務化に伴う駆け込み需要の反動の影響により減収も、海外子会社における需要の増加で増収。
- ◇計画比は、国内向けアルミ押出用金型の需要が想定をやや下回ったものの、海外子会社の需要増加で増収。

□ 交通・輸送(↓ / ↓)

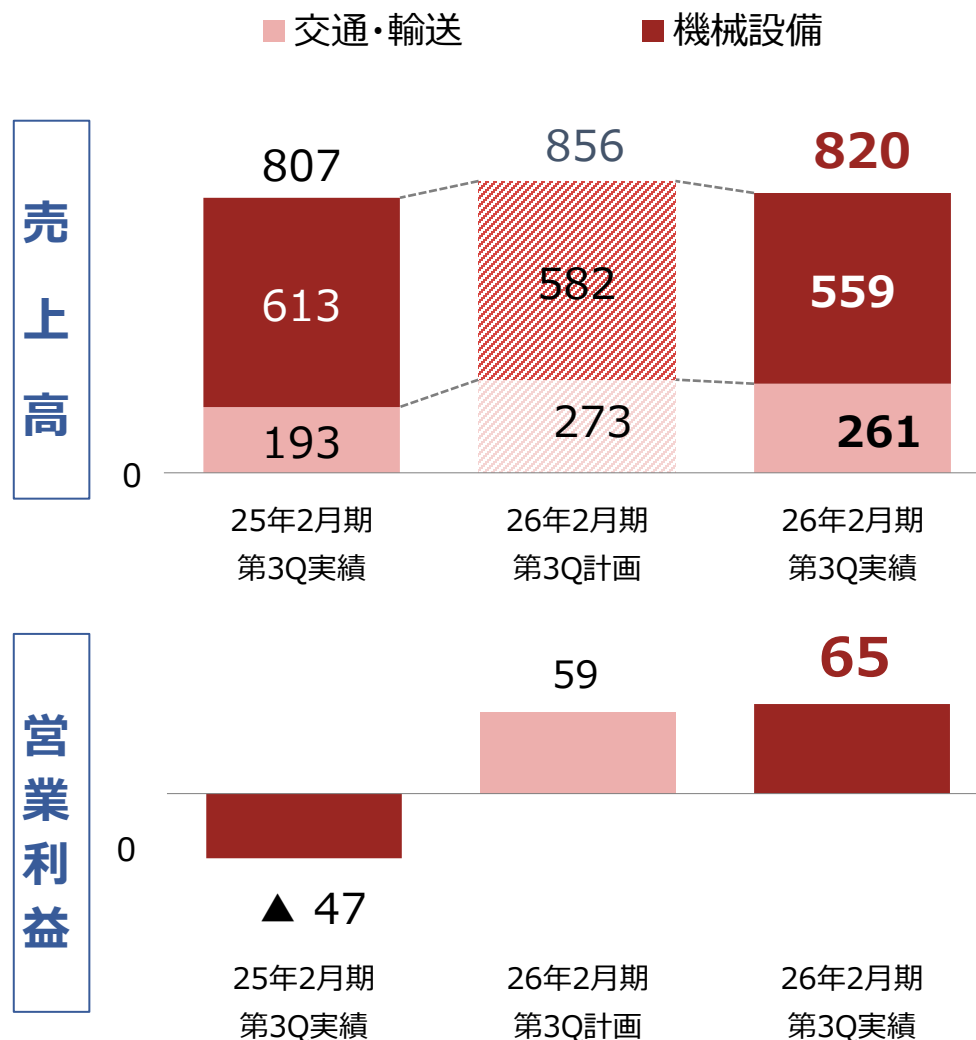
- ◇前期比・計画比ともに、セラミックスハニカム押出用金型における大型製品の受注が減少し、減収。

営業利益増減要因（前期比 / 計画比）

□ (→ / ↑)

- ◇前期比は、国内向けアルミ押出用金型の減収により、微減。
- ◇計画比は、増収および計画経費の延期により増益。

(単位：百万円)



前期比 増収・増益

売上高： 807 ⇒ **820** (+13)

営業利益： ▲47 ⇒ **65** (+113)

売上高増減要因 (前期比 / 計画比)

□ 機械設備 (↓ / ↓)

- ◇前期比は、プレス機の販売は増加したものの、プレス機付帯設備やMF混合溶融装置等の販売が減少し、機械設備全体では減収。
- ◇計画比は、プレス機のシェアリングサービスにおいて案件獲得の未達により減収。

□ 交通・輸送 (↑ / ↓)

- ◇前期比は、自動車関連プレス部品の価格改定により増収。
- ◇計画比は、自動車関連プレス部品の生産が想定を下回り減収。

営業利益増減要因 (前期比 / 計画比)

□ (↑ / →)

- ◇前期比は、自動車関連プレス部品の価格改定に加え、工場集約により固定費を圧縮し増益。
- ◇計画比は、減収も固定費圧縮により、おおむね計画通りに進捗。

※セグメント間の組替：2025年3月より放電加工・表面処理セグメントの環境事業の一部を機械装置等セグメントへ移管しております。
これに伴い前期の数値も変更しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

流動資産 7,634 前年比：▲160	流動負債 4,927 前年比：▲675
固定資産 10,558 前年比：+801	固定負債 4,441 前年比：+757
	純資産 8,824 前年比：+559

資産の部

負債純資産の部

- ◆**流動資産7,634百万円** 前年度末比160百万円減
 - 受取手形の減少 85百万円
 - 売掛金の減少 97百万円 等
- ◆**固定資産10,558百万円** 前年度末比801百万円増
 - 建物および構築物の増加 132百万円
 - リース資産の増加 454百万円 等
- ◆**流動負債4,927百万円** 前年度末比675百万円減
 - 電子記録債務の増加 198百万円
 - 短期借入金の減少 1,406百万円
 - 未払金の増加 525百万円 等
- ◆**固定負債4,441百万円** 前年度末比757百万円増
 - 長期借入金の増加 387百万円
 - リース債務の増加 336百万円 等
- ◆**純資産8,824百万円** 前年度末比559百万円増
 - 利益剰余金の増加 357百万円
 - その他有価証券評価差額金の増加 178百万円 等

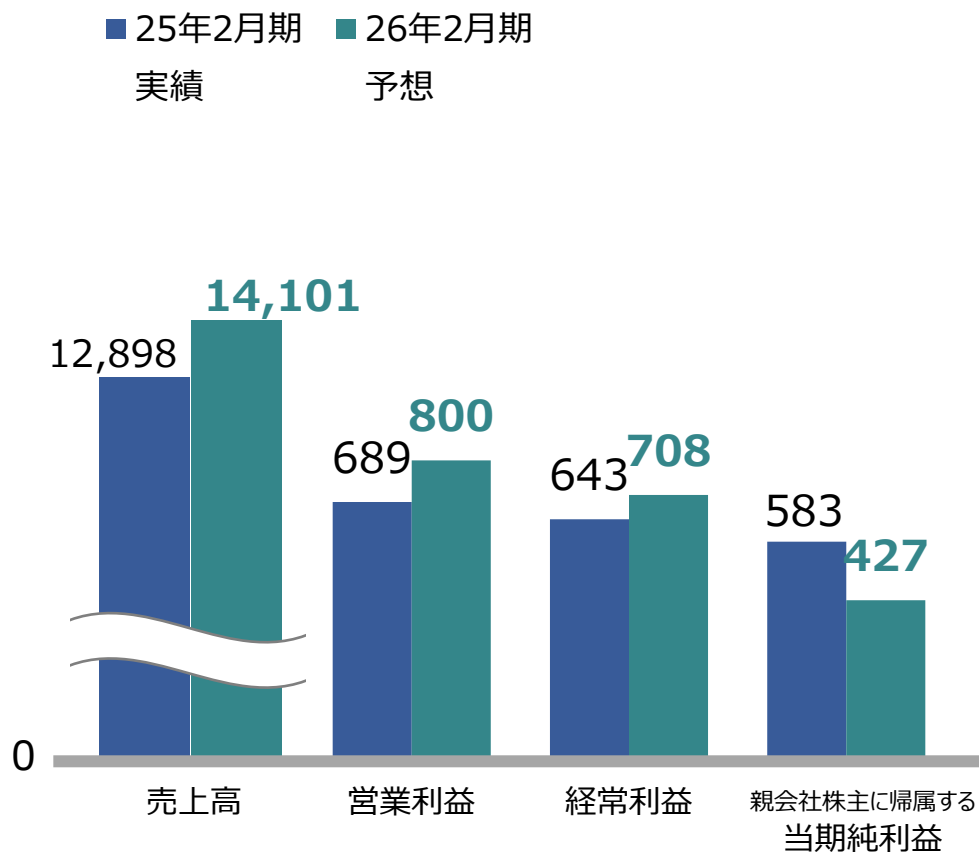
自己資本比率

2026年2月期第3Q : 43.4%
2025年2月期 : 41.9%



2026年2月期 通期連結業績予想

■ 投資タイミングにより下期後半に先行投資費用や一過性経費が集中



(単位：百万円)

	25年2月期 実績	26年2月期 予想	前期差	前期比
売上高	12,898	14,101	+1,203	109.3%
営業利益	689	800	+111	116.1%
経常利益	643	708	+65	110.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	583	427	▲156	73.3%

前期対比減益要因

- 法人税等が通常税率で税負担が増加し親会社株主に帰属する当期純利益は減益

(単位：百万円)

	26年2月期 上期実績	26年2月期 下期予想	<参考> 25年2月期 上期実績	<参考> 25年2月期 下期実績
売上高	7,101	7,000	5,952	6,946
営業利益	616	183	166	523
経常利益	571	136	137	506
親会社株主に帰属する 当期純利益	343	84	80	503

上期対比減益要因

- 先行投資費用の増加+90百万円：ガスタービン部品等の人件費、設備費
- 一過性費用の増加+243百万円：生産設備の定期修繕や情報セキュリティ強化等
- 減収の影響▲101百万円

みんなの「知らない」をカタチにする

HJK 株式会社 **放電精密** 加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載や記述があります。
資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。